

製品ライフサイクルポリシー

エンタープライズ向けサポート終了ポリシー
政府製品 - ソフトウェア、アプリケーション、SaaS/
クラウド サービス



導入

Forcepointは、お客様に最新バージョンのソリューションをご利用いただくことを強く推奨しています。進化するIT脅威の影響を最小限に抑えるには、最新のソフトウェアソリューションを導入することが効果的です。

このForcepoint製品ライフサイクルポリシー（以下「ポリシー」）は、Forcepointのアプライアンスおよびハードウェア製品、ソフトウェア製品、ソフトウェアバージョン、およびSaaS/クラウドサービス（以下「製品」）の初期リリースから廃止までの段階を定義します。本ポリシーは、アプライアンスまたはハードウェアの保証、ならびにハードウェア、アプライアンス、ソフトウェア、およびSaaS/クラウドサービスのアップデートおよび修正を含むテクニカルサポートまたはメンテナンスについて、初期リリースから最終的なサポート終了まで規定しています。本ポリシーの目的は、組織のサポートニーズへの計画と準備を支援する、一貫性のあるドキュメントを提供することです。

このポリシー文書は、次の4つのセクションで構成されています。

- 1.アプライアンスとハードウェアのライフサイクル- スタンドアロンのハードウェアまたはアプライアンス製品の詳細。
- 2.エンタープライズソフトウェアとソフトウェアバージョンのライフサイクル- オンプレミスの自動更新バージョンと手動更新バージョンが含まれます。商用ソフトウェア製品を前提としています。
- 3.クラウド配信型SaaSソリューションのライフサイクル- 自動更新版と手動更新版を含むクラウド配信の商用ソフトウェアソリューション。
- 4.グローバル政府ソフトウェアとソフトウェアバージョンのライフサイクル- 自動更新バージョンと手動更新バージョンが含まれます。当社のグローバル政府向けソフトウェア製品。

マイルストーンの定義:

- ベータ版の提供- ベータ版または早期アクセス版が一部の顧客に提供され、導入または利用できるようになるフェーズ
非本番環境での使用。ベータ版はForcepointの裁量により作成されます。
- 一般提供- メジャーリリースが、関連するマイナーリリース（存在する場合）と共に本番環境で使用可能になるフェーズです。メジャーリリースは、以前のリリースのライフサイクルの変更をトリガーします。詳細については、個々の（商用およびグローバル政府）ライフサイクルポリシーのセクションを参照してください。特定のメジャーリリースに対してマイナーリリースまたはメンテナンスリリースが利用可能になると、そのメジャーリリースの以前のすべてのマイナーリリースとメンテナンスリリースは廃止されます。
- SaaS/クラウド サービスの一般提供- Forcepoint がクラウド配信型 Software as a Service (SaaS) ソリューションの製品版を顧客に提供しているフェーズ。
- メンテナンス終了- 製品および/または製品リリースにマイナー リリースが追加されなくなる日付。
- サポート終了- 製品および/または製品リリースがテクニカルサポートサービスの対象から外れる日付。•販売終了通知- Forcepointが現在のすべての顧客とチャネルパートナーに、販売終了の意向を通知するものです。
製品の販売終了。製品のライセンスは最終的に購入可能です。
- 販売終了- 製品のライセンスが販売終了となる日付。一部のパーツや拡張機能は販売終了となる場合があります。
在庫がなくなり次第終了となります。
- 販売終了- 製品および/または製品リリースのテクニカルサポート（新規サポートを含む）が利用できなくなる日付
製品のリリースや重要な修正が行われない場合、Forcepoint のクラウド配信型 SaaS/クラウド サービスは利用できなくなります。



アプライアンスとハードウェアのライフサイクル

2020年1月発効

アプライアンスおよびハードウェアライフサイクルポリシーは、Forcepointのハードウェアまたはアプライアンス製品に適用され、Forcepointブランドのハードウェアとファームウェア、およびスペアパーツやコンポーネントで構成されます。アプライアンスおよびハードウェアライフサイクルに含まれる製品ファミリーには、以下が含まれます。

- Forcepoint NGFW & Sidewinder (SMC を含む) • Forcepoint I シリーズ、S シリーズ、x10G、M シリーズ、V シリーズ、Z シリーズアプライアンス • Forcepoint Data Guard • Forcepoint Behavioral Analytics • Forcepoint Advanced Malware Detection On-Premises

Forcepoint製品サポートサイクルを参照してください各アプライアンスまたはハードウェア モデルの詳細については、Web ページ (<https://support.forcepoint.com/ProductSupportLife Cycle>) を参照してください。

図1は、Forcepointアプライアンスおよびハードウェアのライフサイクル（製品導入からサポート終了まで）の概要を示しています。このポリシーでは、各主要期日以降のForcepointのお客様とパートナーの皆様への期待事項を説明しています。



図1. アプライアンスとハードウェアのライフサイクル

Forcepointの各アプライアンスおよびハードウェア製品は、製品発売後、一定期間（GA期間）にわたり一般提供（GA）されます。GA期間はアプライアンスおよびハードウェア製品によって異なりますが、通常は2〜4年間です。GA期間が終了した後、または販売終了となった後の製品には、それぞれ独自のタイムライン、成果物、および利用可能なテクニカルサポートオプションが定められています。

Forcepointは、ハードウェアまたはアプライアンス製品の販売終了の3か月（90日）前に通知いたします。この通知期間中は、製品のライセンスは新規購入可能です。販売終了通知には、販売終了日および関連日以降に利用可能なすべてのオプションが記載されています。Forcepointは、販売終了となったアプライアンスについて、テクニカルサポートの提供内容を変更したり、テクニカルサポートの提供を制限したりする権利を留保します。

販売終了後のサポート：

Forcepointのハードウェアまたはアプライアンス製品が販売終了（EOL）を迎えると、当該製品のライセンスは新規購入できなくなります。販売終了通知には、製品の販売終了までの期間とオプションがすべて記載されます。販売終了通知に別途記載がない限り、Forcepointのアプライアンスまたはハードウェア製品には、以下のオプションと期間が適用されます。



- 販売終了後- すべての新しいハードウェアまたはアプライアンス ソフトウェアのリリースと更新、およびコンテンツの更新を受け取ります。
保証期間を 2 年間延長することができます。
- メンテナンス終了後- Forcepointの判断により、重要な修正とセキュリティアップデートの提供を受けるほか、
コンテンツの更新。最初の購入日から2年間、保証延長の対象となります。
5年を超える。

表 1 は、販売終了 (EOS) 後に利用できるオプションの概要を示しています。

アプライアンスライフサイクルサポート		1年目	2年目	3年目	4年生	5年生
重要な修正とセキュリティアップデート	EOS	X	X	X	X	X
コンテンツの更新		X	X	X	X	X
新しいメジャーソフトウェアバージョン		X	X	X		
新しいマイナーリリース		X	X	X	NGFWの場合 のみ	NGFWの場合 のみ
ハードウェアの修理または交換		保証付き 拡大	保証付き 拡大	保証付き 拡大	保証付き 拡大	保証付き 拡大

表1. 販売終了後のオプション
X=標準

別途記載がない限り、ハードウェア製品のテクニカルサポートおよび保証サービスは、購入後最大5年間購入できます。
ハードウェアまたはアプライアンスの最初の購入日。



ソフトウェアとソフトウェアバージョンのライフサイクル

2020年1月発効

商用ソフトウェアおよびソフトウェアバージョンライフサイクルポリシー

この商用ソフトウェアおよびバージョンライフサイクルポリシーは、オンプレミス向けに開発されたすべての商用ソフトウェアに適用されます。

Forcepointのハードウェアまたはアプライアンス、あるいは仮想環境への導入。クラウドベースのソフトウェア（「クラウドサービス」）は含まれません。

CASB または Web Security Cloud SaaS、Email Security Cloud SaaS などのサービスとしてのソフトウェア（「SaaS」）として使用できます。

このポリシーには、次の製品ファミリのソフトウェアが含まれます。

- Forcepoint NGFW & Sidewinder（SMCを含む）
- Forcepoint Web Security（クラウド/ハイブリッド展開を除く）
- Forcepoint Email Security（クラウド/ハイブリッド展開を除く）
- フォースポイント URL フィルタリング
- フォースポイントDLP
- フォースポイント内部脅威
- フォースポイント脅威保護
- フォースポイント UEBA・フ
- ォースポイント データガード

Forcepoint製品サポートサイクルを参照してくださいForcepointソフトウェア製品またはソフトウェアの詳細情報については、Webページをご覧ください。

バージョン: <https://support.forcepoint.com/ProductSupportLifeCycle>。

ソフトウェアバージョンの番号付けと定義

Forcepointは複数の商用ソフトウェアリリースタイプを提供しており、それぞれバージョン番号で識別されます。表2の詳細

Forcepoint 商用製品のソフトウェア リリース タイプと、それぞれの内容について説明します。

用語	説明	例
メジャーリリース	主要な新機能、追加、機能強化、または更新。	8.2 -> 8.3 または 7.8 -> 8.0
マイナーリリース	既知の問題や既に発行されているホットフィックスの修正。また、既存の機能に対するマイナーな機能強化が含まれています。	8.3 -> 8.3.1 または 8.2.1 -> 8.2.2
ホットフィックス	メジャーまたはマイナー内の問題を迅速に解決するためのターゲット修正リリース。	該当なし

表2. 商用ソフトウェアのリリースタイプ



図2は、導入からサポート終了までのメジャー リリースの Forcepoint 商用ソフトウェア バージョン ライフ サイクルの概要を示しています。

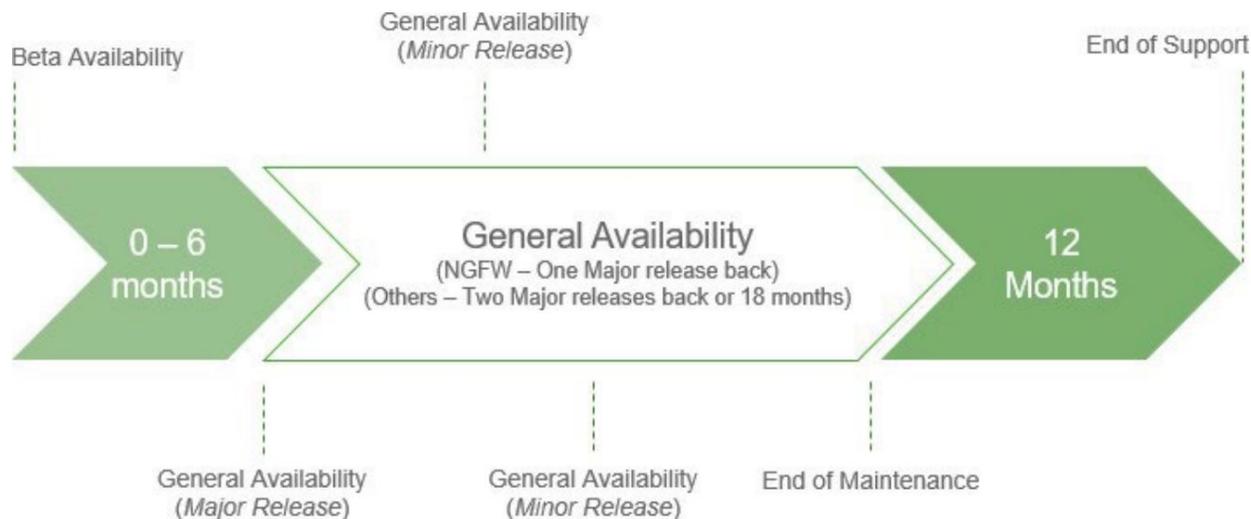


図2. 商用ソフトウェアのバージョンライフサイクル

主要ソフトウェアリリース

メジャーリリースはForcepointソフトウェアにとって最も重要なリリースタイプであり、新しいメジャーリリースは以前のリリースのライフサイクルの変更を引き起こします。新しいメジャーリリースのリリースに伴い、以前のソフトウェアバージョンは製品に応じて廃止されます。詳細は製品によって異なります。

- Forcepoint NGFW:メジャーリリース1つ前のバージョンは廃止され、メンテナンス終了期間に入ります。 •その他のForcepoint製品ファミリー:メジャーリリース2つ前または18か月前のバージョンは廃止され、メンテナンス終了期間に入ります。

特定のソフトウェアバージョンについては、メンテナンス終了期間中も引き続きテクニカルサポートをご利用いただけます。重要な機能修正やセキュリティ修正は、Forcepoint の裁量により提供される場合があります。これらの修正は、マイナーリリースまたはホットフィックスとして提供されます。

メンテナンスソフトウェアリリース

マイナーリリースは、Forcepoint製品への重要な機能追加やセキュリティ修正の配布、アップグレード、またはインストールを容易にします。マイナーリリースは、必要な修正や機能更新のみを対象としています。マイナーリリースは、Forcepointの裁量により、更新の必要性に応じて実施されます。

マイナーリリースがリリースされると、以前のマイナーリリースバージョンは廃止されます。廃止されたマイナーリリースで発見された重大な問題は、関連するメジャーリリースの次のマイナーリリースで対処されます。

長期サポート (LTS)リリース

ForcepointにはLTSと呼ばれる特定のリリースがあり、初回リリースからのリリース数に関係なく、24ヶ月間のテクニカルサポートが提供されます。これらのリリースは特別な承認が必要であり、通常は認定リリース (例: Common Criteria)向けに予約されています。サポート終了日は別途お知らせいたします。

Forcepoint

Forcepoint ソフトウェア製品の販売終了

図 3 は、Forcepoint 商用ソフトウェア製品の販売が中止される場合の予想される発表と継続的なテクニカル サポートを定義しています。



図3. 商用ソフトウェアの販売終了ライフサイクル

Forcepoint は、商用ソフトウェア製品の販売終了の 3 か月前 (90 日前) に通知します。

この通知期間中、製品のライセンスは新規購入または拡張のために引き続きご利用いただけます。製品が

販売終了後、Forcepointは、限定的なセキュリティパッチを含む1年間の限定テクニカルサポートを販売することがありますが、バグ修正、セキュリティ修正、コンテンツ更新は含まれません。Forcepointは、このサポート期間を短縮または延長する権利を留保します。

製品の状況に応じて技術サポートが期待されます。

現在全額支払い済みのサブスクリプションをお持ちのお客様は、サブスクリプションの終了までテクニカルサポートを受け続けることができます。

終了時に通知されない限り、適用されるForcepointエンドユーザーライセンス契約の条件に従って期間が延長されます。

生命の発表。

サポート終了期間中は、お客様は限定的なテクニカルサポートを購入したり、最終購入や拡張を行ったり、

新しいベースラインに移行する予定です。



Forcepoint ONE クラウド配信型ソフトウェア サービス

ソリューションのライフサイクル

2023年1月発効

Forcepoint ONEのクラウド配信型SaaS (Software as a Service)製品は、年間を通して定期的にアップデートされ、最新バージョンが以前のバージョンに置き換わります。新しいバージョンがリリースされると、同じクラウド環境をご利用のすべてのお客様にアップデートが提供されるため、すべてのお客様が最新バージョンをご利用いただけます。一部のSaaSソリューションにはダウンロード可能なコンポーネントが含まれており、お客様はサポート対象バージョンへのアップデートが必要となります。

このSaaS製品ライフサイクルは、Forcepoint ONE SaaS製品および関連するダウンロード可能なコンポーネントの初期リリースから廃止までの段階を定義します。ポリシーは、製品のライフサイクル全体を通じて利用可能なサポートと、廃止までの様々なマイルストーンを定義します。

このポリシーは、次の2つのセクションで構成されています。

1. クラウド配信型SaaSソリューションのクラウドベースコンポーネント
2. クラウド配信型SaaSソリューションのダウンロード可能なコンポーネント

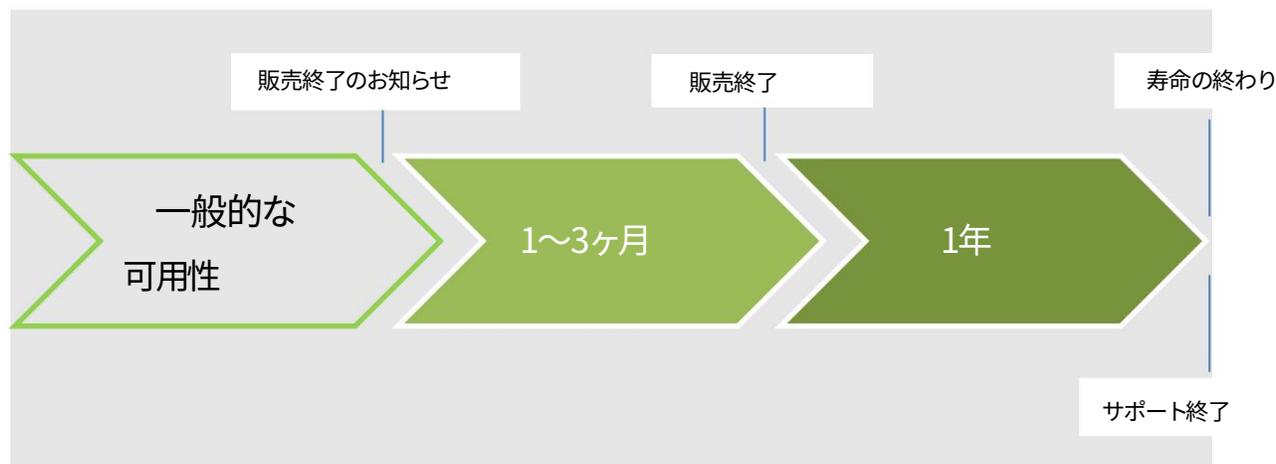
SaaSソリューションのクラウドベースのコンポーネント

クラウドベースのコンポーネントは、クラウド配信のSaaS製品に適用されます。これは、Forcepoint ONEおよびその下位製品（以下を含みますが、これらに限定されません）に適用されます。

- Forcepoint ONE Webセキュリティエディション
- Forcepoint ONE ZTNA プライベートアプリセキュリティ
- Forcepoint ONE CASB クラウドアプリセキュリティ
- Forcepoint ONE クラウドセキュリティエディション
- Forcepoint ONE CASB APIスキャン
- フォースポイントワン CSPM
- フォースポイントワン SSPM
- Forcepoint ONE IaaSスキャン
- Forcepoint ONE RBIアドオン
- Forcepoint ONE マルウェア対策

(上記には、記載されている SaaS 製品の FEDRAMP エディションが含まれます)

図1は、クラウド配信SaaSのライフサイクルを、サポート終了まで概説しています。



Forcepointは、SaaS製品の販売終了（EOL）の1~3か月前（30~90日前）に通知するよう努めます。販売終了日前までは、製品の新規サブスクリプションは引き続きご利用いただけます。販売終了日以降は、お客様は販売終了日までサブスクリプションを更新、またはシート数やユーザー数を追加購入できます。販売終了日以降は、下記に定める場合を除き、すべてのサブスクリプションが終了します。

Forcepoint

既存の契約がサポート終了期間を超えて継続している顧客には、アップグレードを含む別のオプションが提供されます。パスまたは代替への移行。

クラウド配信型 SaaS ソリューションのダウンロード可能なコンポーネント

オンプレミス コンポーネントのライフサイクルは、クラウド配信型 SaaS ソリューションの特定の機能を有効にするためにオンプレミスにインストールされたエンドポイント エージェントとコネクタに適用されます。このライフサイクルを持つ製品ファミリーには、以下が含まれます。

- Forcepoint ONE SmartEdge エージェント (エンドポイントエージェント)
- Forcepoint ONE ZTNAコネクタ
- Forcepoint ONE Shadow IT Discovery OVA (Syslogコネクタ)
- Forcepoint ONE ディレクトリ同期エージェント (ディレクトリコネクタ)

ダウンロード可能なコンポーネントでは、新しいバージョンをプッシュダウンするために、新しいバージョンのダウンロードとインストール、またはクラウドでの構成変更が必要になる場合があります。

ダウンロード可能なコンポーネントは、後続のメジャーバージョンのリリースから6か月間サポートされます。(例えば、新しいバージョンN+1が2023年1月1日にリリースされた場合、以前のメジャーバージョンNは2023年6月30日にサポート終了となります)

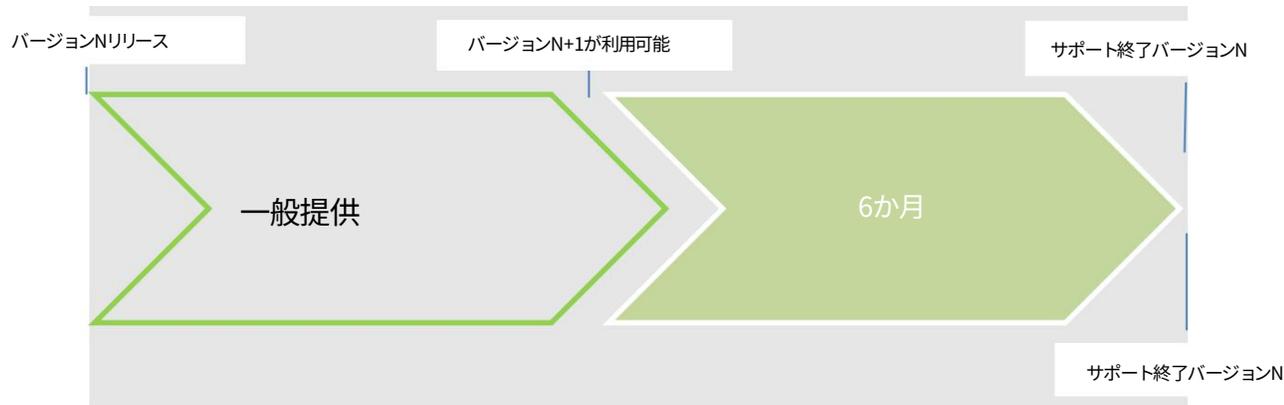
ダウンロード可能なコンポーネントのすべてのバージョンは、同等のクラウドベースのコンポーネントが同じマイルストーンに達すると、販売終了/サポート終了になります。

ダウンロード可能なコンポーネントのバージョン変更の識別

ダウンロード可能なコンポーネントには、以下の2つのバージョン形式があります。

- ドット形式 WXZBUILD 例 1.4.1.220227-140 または 2.11.10.290
- 日付形式 YYYYDD-BUILD 例 210803-51

ビルド番号 (BUILD番号)の変更はバージョン変更とはみなされません。その他のバージョンの更新はバージョン変更とみなされます。





世界各国政府向けソフトウェアとソフトウェアバージョンのライフサイクル

この Global Governments ソフトウェアおよびバージョン ライフサイクル ポリシーは、Forcepoint ハードウェアまたはアプライアンス上、あるいは仮想的にオンプレミス展開用に開発されたすべての Global Governments ソフトウェアに適用されます。

このポリシーには、次の製品ファミリのソフトウェアが含まれます。

- フォースポイント トラストド シンククライアント
- フォースポイント ハイスピードガード
- Forcepoint Trusted Gatewayシステム
- フォースポイント信頼メールシステム
- Forcepoint の信頼できる印刷配信
- フォースポイントウェブシールド
- フォースポイント シムシールド

Forcepoint製品サポートサイクルを参照してください各ソフトウェアバージョンの詳細情報については、次の Web ページをご覧ください。
<https://support.forcepoint.com/ProductSupportLifeCycle> をご覧ください。

ソフトウェアバージョンの番号付けと定義

Forcepointは、Global Governmentsソフトウェアリリースの2つのタイプを提供しており、それぞれバージョン番号で識別されます。表3 Forcepoint Global Governments 製品のソフトウェア リリース タイプとそれぞれの内容について詳しく説明します。

用語	説明	例
メジャーリリース	これらは第一階層 (V)の変化です。主な変化は左記は新しいものへのアップグレードを表します 新たな評価と認定を必要とするベースライン (A&A)。	7.8 -> 8.0 または 7.8.0.2 -> 8.0 または 7.8.1 -> 8.0
マイナーリリース	これらは二次的 (またはそれ以上)のバージョン変更です。 左側に記載されている変更には、既存の ベースラインでは、A&A アクティビティが必要になる場合があります。	7.8.0.1 -> 7.8.0.2 または 7.8.0.1 -> 7.8.1 または 7.8.0.1 -> 7.9

表3. 世界各国政府向けソフトウェアリリースの種類

図4は、Forcepoint Global Governmentsのソフトウェアバージョンライフサイクルの概要を示しています。メジャーリリースの導入からサポートの終了。



図4. 世界各国政府のソフトウェアバージョンライフサイクル

Forcepoint

ソフトウェアリリース

すべてのグローバル政府向けメジャーリリースとマイナーリリースは、製品の種類と顧客に基づいてスケジュールされています。

新しいメジャー リリースが一般に利用可能になると、1 つ前のメジャー リリースのバージョンは販売終了期間に入ります。

新しいマイナーリリースが一般公開されると、製品の以前のマイナーリリースバージョンは廃止されます。廃止されたマイナーリリースで発見された重大な問題は、関連するメジャーリリースの次のマイナーリリースで対処されます。

Forcepoint ソフトウェア製品の廃止

図 5 は、Forcepoint Global Governments ソフトウェア製品が廃止される場合の予想される通知期間と継続的なテクニカル サポート期間を定義しています。



図5. グローバル政府向けソフトウェアの通知と継続的なサポート

Forcepointは、ソフトウェア製品の販売終了の12ヶ月前に通知いたします。この通知期間中は、製品のライセンスは新規購入または拡張購入のために引き続きご利用いただけます。

製品が販売終了（EOL）を迎えると、ライセンスは購入できなくなり、2年間のサポート終了期間に移行します。サポート終了期間中も、Forcepointは重要なバグ修正、セキュリティ修正、コンテンツアップデートを含む継続的なテクニカルサポートを販売いたします。

サポート終了期間中、お客様はテクニカル サポートを更新したり、最終購入や拡張を行ったり、新しいベースラインへの移行を計画したりすることができます。

サポート終了期間が終了すると、特定の顧客に対して特別な例外が具体的に交渉されない限り、製品はサポートされなくなります。

Red Hat® Enterprise Linux® ライフサイクルの影響

Forcepoint 製品コンポーネントの一部は、Red Hat Enterprise Linux オペレーティングシステム (OS) をベースとしています。Red Hat は、ポストプロダクションライフサイクルフェーズに達すると、「延長ライフサイクルサポート」(ELS) フェーズに入ります。このフェーズの長さはさまざまですが、これまでは少なくとも 3 年間でした。このフェーズでは、Red Hat はマイナー (または「ドット」) リリースやハードウェアアップデートなどを提供しなくなりますが、「最後のマイナーリリースに対する重大な影響を与えるセキュリティ修正と厳選された緊急優先度のバグ修正」は引き続き提供します。Forcepoint は、リリーススケジュールと新しいベースラインの可用性 (必要な A&A 活動の完了を含む) に関してあらゆる努力を尽くし、特定の OS バージョンが Red Hat の ELS フェーズに入ることを防ぎます。ただし、状況により異なる場合、Forcepoint は、必要に応じて Forcepoint 製品の修正プログラムとアップデートとともに、現在のメンテナンス期間中にその OS サポート機能を顧客に提供します。



forcepoint.com/contact

フォースポイントについて

Forcepointは、人間中心のグローバルサイバーセキュリティ企業です。個々のユーザーやマシンがもたらす動的なリスクに合わせてセキュリティ対応を継続的に適応させることで、デジタルエンタープライズを変革します。Forcepointのヒューマンポイントシステムは、リスク適応型の保護を提供し、データとシステムの信頼できる利用を継続的に確保します。テキサス州オースティンに拠点を置くForcepointは、150カ国以上の数千の企業および政府機関のお客様のヒューマンポイントを保護しています。